

## 120万円の補助金が延長されました！

木のいえ整備促進事業（長期優良住宅）の補助金の申請受付が平成23年12月16日までに延長されました。

一戸あたり最大120万円の補助金が受けられますので、新築住宅をご検討の方にとっては大きなチャンスです。

### ・ 対象となる住宅の要件 ・

①長期優良住宅の認定を受けていること  
耐震性、構造躯体の耐久性、省エネ性、維持管理の容易性を確保していること

②住宅履歴情報の整備  
点検、補修などの維持管理に関する記録を整備し、住宅の長寿命化を図っていること

③建築過程の公開  
上棟から内装工事直前までの工程で、現場を一般に公開すること

この条件を満たせば100万円の補助金が受けられます。

さらに上記①～③に加えて次の条件を満たせば120万円の補助金が受けられます。

④産地証明がなされている木材の使用  
構造材の過半で産地証明された木材を使用していること

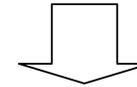


### ・ お気軽にお問い合わせください ・

長期優良住宅についてのご質問やご相談は、お気軽にお問い合わせください。  
施工実績に基づいてお答えいたします。

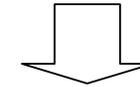
## リフォーム現場情報

### システムキッチン入替



吊戸棚が大きくなったことと、キッチン本体が引出式となり、収納力が大きくなりました。また使い勝手も良くなったと喜んでいただいています。

### 洗面化粧台入替



当時はシャワー水栓が出だした頃で珍しかったのですが、今では一般的になっています。

住宅に関して現在打ち出されている政策や、検討課題のおもなものを紹介します。

1. 住宅エコポイント制度の復活 : 新築住宅は15万ポイントと従来の半分になる予定ですが、リフォームは従来どおり30万ポイントで、耐震改修を行う場合はさらに15万ポイントプラスになる予定です。
2. ゼロ・エネルギー住宅の普及 : エネルギー消費をほぼゼロにする「ゼロエネ断熱改修」と耐震改修をセットで行う工事に対して1戸あたり200万円を補助するよう検討中です。
3. 住宅ローンの優遇 : リフォーム工事でも「フラット35S」(固定金利+金利優遇)を利用できるようにするとともに、税制上の追加措置も含めて検討中です。

いずれも住宅の長寿命化におけ、リフォームや中古住宅、省エネ化を促進する政策や検討がなされています。